

海外留学や海外出張の 1 日目から困らない英語力を 1 か月で身に付ける方法

戸田翻訳サービス



本書の著作権は戸田翻訳サービスが所有しています。
書面による許可なく本書を複製・配布することはできません。

■このレポートの目的

初めて海外に留学・出張・旅行するときは、言葉の違いからかなり神経質になるものです。

日本にいた間に、かなり英語を勉強したつもりでも、実際に海外に行って外国人を相手にすると緊張してしまい、何も言えなくなることもあります。

また、日本の英会話学校や英語教材などで勉強しても、学んだ内容と同じ状況になることは、ほとんどないため、学んだことを役立てることができません。

当然ですが、外国人と英語で議論できるレベルの英語を身に付けるには長い時間がかかります。しかし、**留学や出張の1日目から英語で基本的なコミュニケーションをとれるレベルの英語なら、1か月もあれば身に付けることができます。**

このレポートでは、海外留学・出張で起こる可能性がある場面をあらかじめ想定し、シミュレーションしておくことで、どのような状況にでもあせらずに対応できるようにする方法を紹介します。

この方法を実践することで、コミュニケーションが円滑になるだけでなく、あなたは周りの人から尊敬され親しまれて、頭が良くて頼りになる日本人という地位を得ることができるはずです。

このレポートで紹介する方法を活用して、あなたの留学・出張が実りの大きいものになることをお祈りしています。

次のページから、そのための方法を説明します。

■ 想定される場면을予行演習する

留学先・出張先・旅行先で、朝起きてから寝るまでに起こる可能性があることをすべて想像します。

朝起きるところから想像していくといいでしょう。

たとえば、留学している場合は以下ようになります。

1. 朝起きて、服を着替えたらキッチンに行く。
2. ホームステイ先のホストマザーにあいさつする。
3. 朝ご飯を食べる。
4. バスで学校に行く。

などです。

また、仕事で出張している場合は以下ようになります。

1. 朝起きて服を着替えてホテルのレストランで朝食をとる。
2. タクシーで会社に行く。
3. 上司に仕事の進み具合を報告する
4. 部下をランチにさそう

などです。

可能性がある行動をすべて考え出してください。

このようにして、朝から晩までに起こる可能性がある会話を全部、日本語で書き出します。

そして、すべての会話を英語に訳していきます。間違えていてもかまいません。変な英語になっていても大丈夫です。

あなたは英語圏にやってきたばかりの外国人なので、変な英語で話していても、誰も馬鹿にしたりしません。

英語が得意な人が身近にいたり、英会話学校に通っていたりする場合は、文章を添削してもらおうといいでしょう。インターネットで検索すれば、添削サービスを見つけることもできます。

そして、書き出した英語を何度も練習します。

発音や文法は大切ですが、神経質になりすぎないでください。**自信を持って、大きな声で話していれば、少し変な英語でもだいたい通じます。**

逆に、小さな声で話していると、正しい英語で話していても理解してもらえません。また、自信のない人だと思われるので仕事や人間関係に悪影響があります。

それに、通じないことがあっても気にする必要はありません。あなたの積極的な態度が相手に好印象を与えます。

英語が上手かどうかなんか関係ありません。あなたが必死でコミュニケーションをとろうとする態度、勉強熱心な態度が、あなたの評価を高めます。

■ 自己紹介をきわめる

外国に行ったときには、必ず自己紹介をすることになります。このときに名前と年齢し
か言えないようでは、あなたの評価は最低レベルになるでしょう。

そこで、あらかじめ自己紹介の準備をしておきましょう。



そのための手順について、家族の紹介を例に説明します。

まず、家族構成を日本語で説明できるようにしておきましょう。

妻、夫、子供、両親、兄弟などです。そして、妻(夫)はどんな人か、仕事は何をしているかなどを説明できるようにしましょう。

次に、家族について考えたことを英語に訳します。間違った英語でも、変な英語でもかまいません。単語を並べるような英語でもいいので、とにかく英語に訳します。

できれば、添削してもらってください。そして、英語の文を何度も練習します。

こうしておく、自信を持って自己紹介できるようになります。そして、あなたとずっと話をしたいという人が現れます。

家族のことを話す準備ができたなら、あなたの仕事や趣味などについても同じように英作文しておきます。

前もって準備しておくだけで、実際に英語を話すときのスムーズさがまったく違ってきますよ。

■滞在先の情報を集める

前の章までに説明した勉強方法を実行したら、自分や家族について話せるようになります。また、バスの乗り降りなどの日常的な会話もできます。

次は、滞在先のことについて勉強し、あなたが教養にあふれるインテリであるという印象を与えましょう。

まず、現地の町の情報、人気のあるスポーツ、有名な施設、有名人、歴史などを調べましょう。インターネットを使うと簡単に情報が集まります。

英語が苦手な人にとっては、英語で情報収集するのは大変なので日本語で情報収集するといいでしょう。

会話で話題として使えることを日本語でまとめてから、辞書を使いながら英語に訳します。

すべての情報を訳す必要はありませんし、完全に訳す必要もありません。有名なスポーツ選手の名前、施設の名前などを英語で覚えて、後は歴史的出来事などの大まかな情報だけを英語にしておきます。

できれば添削してもらい、何度も読んで練習します。

そして、会話のふしぶしに、これらの話をはさみ込みます。

誰しも、自分の地元のことに興味を持ってくれる人に対して好印象を持つものです。

たとえば、もしあなたがシアトル市に行ってシアトルの人と話をするならシアトルにある施設やシアトルに住んでいる有名人のことを知っているほうが会話が弾んで友達になれる可能性が高くなりますよね。

■ 仕事・専門分野・趣味に関係する本・資料を読みまくる

仕事や専門分野、趣味などに関係している英語の資料や本を読みましょう。
分からない単語は、意味を調べながら読みます。

「簡単な文章を読むのさえむずかしいのに、
そんなの理解できるわけじゃないじゃないか！」

と思うかもしれませんが、これが意外に理解できます。

なぜなら、あなたの仕事や専門分野、趣味に関することなら、
あなたには背景知識があるからです。

すでに基礎知識があることなら、英語を完全に理解できなくても
想像しながら読むことができます。

単語の意味を調べながら読んでいると、
だいたい何について書かれているのかを想像できるようになるはずです。

これだけで、海外でのあなたの仕事や勉強、友達作りは相当らくになります。

■さあ行動しましょう

このレポートで紹介した方法で勉強すれば、1 か月もあればかなり自己表現ができるようになり、周りの人とのコミュニケーションが円滑になります。

もちろん、相手の言っていることを聞き取れなければスムーズな会話はできないのでリスニングの練習もする必要があります。

でも、どうしても相手の言うことが聞き取れなければ、ゆっくり話すようお願いしたり、紙に書いてもらったりすればいいだけです。

このレポートで紹介した方法では、CD を聞いているだけで英語ペラペラになるというような魔法の方法ではなく、自発的に勉強する必要があります。

でも、やっただけの効果があります。

ぜひ挑戦してください。

【警告】本内容は著作物です。一切の転載・公開を硬く禁じます。

■免責事項

本レポートでは文章作成に役立つ情報アドバイスを提供していますが、本レポートで提供された情報によって起きた問題に関しては一切、当方に責任や義務は発生しません。読者が、ここでの情報や助言を参考に下した決断は、当然ですが、すべて各人の責任となります。